

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-270910(P2008-270910A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2007-107378(P2007-107378)

【国際特許分類】

H 04 N	5/232	(2006.01)
G 06 T	1/00	(2006.01)
G 06 T	7/20	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)
G 03 B	15/00	(2006.01)
H 04 N	101/00	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/232	Z
G 06 T	1/00	3 4 0 A
G 06 T	7/20	3 0 0 B
H 04 N	5/225	F
G 03 B	15/00	Q
H 04 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月1日(2010.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を撮影して画像を取得する撮影部と、

上記取得された画像における上記被写体の顔部を検出する顔画像検出部と、

複数回の上記撮影によって取得される複数の画像に対して上記顔画像検出部によって検出される先行するタイミングと現在のタイミングとの各々のタイミングにおいて上記撮影部によって取得される画像に対して上記顔画像検出部から得られる顔部の画像を比較して、上記現在のタイミングにおける被写体の表情の自然さを判定する自然さ判定部と、

を具備することを特徴とするカメラ。

【請求項2】

上記自然さ判定部によって判定された上記被写体の表情の自然さを視覚化する視覚化部をさらに具備することを特徴とする請求項1に記載のカメラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するために、本発明の第1の態様によるカメラは、被写体を撮影して画像を取得する撮影部と、上記取得された画像における上記被写体の顔部を検出する顔画

像検出部と、複数回の上記撮影によって取得される複数の画像に対して上記顔画像検出部によって検出される先行するタイミングと現在のタイミングとの各々のタイミングにおいて上記撮影部によって取得される画像に対して上記顔画像検出部から得られる顔部の画像を比較して、上記現在のタイミングにおける被写体の表情の自然さを判定する自然さ判定部とを具備することを特徴とする。